

## スペイン語ガイドブック

### ■冠詞

#### Q - 1:定冠詞の形は？

修飾する名詞の性と数に合わせて次のように変化します<sup>1</sup>。

性	単数	複数
男性	el	los
女性	la	las
中性	lo	-

- el libro 本(単数)、los libros 本(複数)、la casa 家(単数)、las casas 家(複数)、lo bonito きれいなこと

#### Q - 2:al と del という形は？

(1) 前置詞の a と定冠詞の el と結びついて、al という形になります。

- El banco está al final de esta calle. // 銀行はこの通りの突き当たりにあります。

(2) 前置詞の de と定冠詞の el と結びついて、del という形になります。

- España está en la parte sur del continente europeo. // スペインはヨーロッパ大陸の南部に位置する。

---

<sup>1</sup> 定冠詞は無強勢語なので、続く名詞(句)に続けて発音します。たとえば、la casa を[ラ・カサ]のように切って、それぞれの語にアクセントをつけず、[ラカサ]のように強勢語である名詞だけに強勢をつけて、1語のように発音します。

### Q - 3: 「el+女性名詞」という組み合わせは？

強勢のあるa, haではじまる女性単数名詞の直前ではlaはelとなります<sup>2</sup>。

- el agua 水、el hacha 斧。

### Q - 4: 定冠詞の意味は？

名詞が聞き手に了解されている（または了解できる）内容を示すときに用いられます。日本語ではとくに訳さないでかまいません。

- España está en la parte sur del continente europeo. // スペインはヨーロッパ大陸の南部に位置する。
- La capital de España es Madrid. // スペインの首都はマドリードだ。

### Q - 5: 文脈による指示？

(1) 文脈によって指すものが定められているときに定冠詞を用います。この場合、「その…」と訳すことができます。

- Había una vez un rey que tenía una hija. La hija era muy bonita y la llamaban la Bella. // あるとき王に一人の姫がいました。その娘はとてもきれいで 美し姫と呼ばれていました。

(2) 修飾語 [句・節] によって限定された場合<sup>3</sup>

<sup>2</sup> 冠詞と名詞の間に形容詞がある場合は la となります。

- la otra agua 別の水

複数形は las となります。

- las hachas 斧

<sup>3</sup> 名詞が限定されなければ定冠詞はつけません。

- Leí una novela de Pérez Galdós. // 私はペレス・ガルドスの(ある)小説を

- Fui a la casa de mi tío. // 私は叔父の家に行った。
- El libro que está sobre la mesa es mío. // 机の上にある本は私のです。

(3) 修飾語 [句・節] によって限定された固有名詞

- la bella Carmen 美しいカルメン
- la España del siglo XX 20 世紀のスペイン

(4) 固有名詞によって限定される普通名詞

- el doctor Pérez ペレス博士 [医師]

### Q - 6: 場面による指示？

(1) 場面によって指すものが明確に定まっているときに定冠詞を用います<sup>4</sup>。

- ¿A qué hora se abre el banco? // 銀行は何時に開きますか。

(2) 具体的な場面でなく話者の想像の世界にあるものを指すこともあります。

- Recuerdo muy bien los días felices de infancia. // 私は子供の頃の幸福な日々をよく覚えている。

---

読んだ。

<sup>4</sup> \* 身体の一部や身につけるものを指します。英語と比べてスペイン語ではあまり所有形容詞を使いません。

- Abrió los ojos y levantó la cabeza. // 彼は目を開けて頭を上げた。
- Ponte el abrigo. // オーバーを着なさい。
- La madre le levó las manos al bebé. // 母親は赤ん坊の手を洗ってやった。

\* 呼びかけるときには冠詞はつけません。

- Buenos días, señor Pérez. // ペレスさん、おはようございます。

## Q - 7:指示物が明らかな場合

次のように指すものが相手に自明のものには定冠詞がつきます。

### (1) 唯一の物

- el cielo 天・空、la tierra 地、el sol 太陽。

### (2) 自然・季節・方位・暦<sup>5</sup>

- la lluvia 雨、el alba 暁、el otoño 秋、el norte 北、el domingo 日曜日、el primero de enero 1月1日。
- Todo es triste en el invierno. // 冬は何もかも寂しい。

### (3) 総称。人や事物一般について述べる。

- La leche es buena para la salud. // 牛乳は健康によい。 // 人間は死すべきものである。
- El tiempo pasa como una flecha. // 時は矢のように過ぎる(光陰矢のごとし)。

### (4) 全体を表わす<sup>6</sup>。

- Va a vender el ganado que tiene. // 彼は自分の持っている家畜を全部売ろうとしている。

### (5) 強調を示す。「まさにその、典型的な」という意味で用いる。

- Así es la forma de hablar. // これが話し方というものだ。

---

<sup>5</sup> 特定化されていなければ定冠詞をつけません。前置詞とともに用いると副詞に近くなります。

- En invierno voy al norte a esquiar. // 冬には私は北へ行ってスキーをする。

<sup>6</sup> todo(s)は冠詞の前につけます。

- Estudiamos todos los días. // 私達は毎日勉強します。

## Q - 8:定冠詞が数詞につく場合は？

次は定冠詞＋数詞の重要な用法です。

(1) 「時刻」には女性定冠詞を用いる。

- Son las ocho. // 8時です。
- La clase empieza a las nueve. // 授業は9時に始まる。

(2) 「日」には男性定冠詞を用いる。

- Mi cumpleaños es el 15 de septiembre. // 私の誕生日は9月15日です。

(3) 「パーセント」は男性定冠詞を用いる<sup>7</sup>。

- El 20% (por ciento) de los encuestados contestaron que sí. // アンケート対象者の20%の人が『はい』と答えた。

## Q - 9:定冠詞が名詞化するときは？

(1) 形容詞の名詞化<sup>8</sup>

- Los ricos deben ser caritativos con los pobres. // 金持ちは貧乏人に慈悲深くあらねばならない。

(2) 不定詞の名詞化<sup>9</sup>

- El hablar demasiado es su falta principal<sup>10</sup>. // おしゃべりのしすぎが彼の第一の欠点だ。

---

<sup>7</sup> 不定冠詞を用いるときも男性形となります。

<sup>8</sup> 完全に名詞となったものもあります。

- el alto 高さ、el largo 長さ

<sup>9</sup> 完全に名詞化したものもあります。

- el ser 存在、el saber 知識。

<sup>10</sup> ふつう不定詞が ser 動詞などの補語になると定冠詞をつけません。

- El ver es creer. // 見ることは信じることだ（百聞は一見に如かず）。

(3) 疑問詞や疑問節に定冠詞をつけて名詞や名詞節に変えます。

- Ahora entiendo el porqué de todas las cosas. // 今あらゆることの原因がわかった。
- El cómo le había entrado las ganas de leer ese libro no lo sabía. // 私は彼がなぜその本を読む気になったのか知らなかった。

(4) el (la, los, las, lo)+関係代名詞については→**関係詞**

(5) el (la, los, las, lo)+所有形容詞については→**所有詞**

### Q - 10:定冠詞が代名詞化するときは？

定冠詞+形容詞(句)は代名詞として用いられます。

(1) 名詞の繰り返しを避けるため

- ¿Dónde están mi coche y el de Pedro? // 私の車とペドロの車はどこだ?
- De estas dos corbatas, me quedaré con la verde. // この2つのネクタイのうち私は緑の方をいただきます。

(2) 人を表わすことも多いです。

- la de gafas めがねの女性、los de aquí ここの人々

### Q - 11:固有名詞に定冠詞がつくときは？

ふつう固有名詞には定冠詞はつけませんが、次のような場合は定冠詞をつけます。

(1) 海・川・湖・山・島・通りの名前など定冠詞をつけることが多い。

- el Océano Atlántico 大西洋、el Guadalquivir グアダルキビール川、los Alpes アルプス山脈、las Baleares バレアーレス諸島、la Princesa プリンセサ通り

(2) 普通名詞が固有名詞化したもの。

- la Mancha ラ・マンチャ地方、el Escorial エスコリヤル宮殿、el Pardo パルド宮殿、los Países Bajos オランダ、los Estados Unidos 合衆国

(3) 著者名・作者名に冠詞をつけてその作品を表わす。

- el segundo tomo del Quevedo ケベードの第二巻、los Rubens del Museo del Prado プラド美術館のルーベンスの作品

(4) los + 姓・…家、…一家、…家の人々

- los López ロペス一家

(5) スポーツチーム名は男性定冠詞がつく。

- el Barcelona バルセロナ・チーム

(6) 同格で用いられる別名・あだ名。

- Isabel la Católica カトリック女王イサベル

(7) 略語の前につける。

- la ONU (la Organización de Naciones Unidas) 国際連合

(8) イタリアの作家・芸術家。

- El Petrarca ペトラルカ、El Ticiano ティチアーノ

(9) 個人名に定冠詞がつけられると俗語的になり、軽蔑・からかい・親しみを表わします。

- la Paloma あのパロマ(女性の名)。

## Q - 12:定冠詞のある地名は？

次は定冠詞が必ずつく地名として重要なものです。

(1) 国名、都市名、県名、地方名<sup>11</sup>

- El Salvador エルサルバドル、el Brasil ブラジル、el Canadá カナダ、el Ecuador エクアドル
- La Habana ハバナ、La Paz ラパス、El Cairo カイロ、La Haya ハ[グ]、el Cairo カイロ市、la Coruña ラ・コルーニャ県、la Habana ハバナ市、la Rioja リオーハ地方など。

(2) 次の地名はフォーマルな文体でしばしば定冠詞をつけます。

- el Japón 日本、el Perú ペルー、la Argentina アルゼンチン

**Q - 13: 「定冠詞＋形容詞句＋名詞」という連続は？**

冠詞と名詞の間に形容詞句が入ることがあります。フォーマルな文体に多いです。

- Estos son los para mí interesantísimos pormenores. // これらは私にとっては非常に興味ある詳細です。

**Q - 14: 名詞の並列するときの定冠詞は？**

名詞が2つ以上並ぶときはふつう最初の名詞にだけ冠詞をつけます<sup>12</sup>。

- Los jefes, oficiales y soldados combatieron con gran valor. // 隊長も将校も兵士もみな勇敢に戦った。

---

<sup>11</sup> 固有名詞の一部である El は前置詞 a, de と融合しません(×al, del)。大文字で書かれます。

- a El Salvador エルサルバドルへ、de El Caire カイロの
- el camino de El Escorial エスコリアル宮への道

<sup>12</sup> それぞれの語が独立して重要性があるときはそれぞれに冠詞をつけます。

- Se arruinaron los vencedores, los vencidos y los neutrales. // 勝者も敗者も中立の者も壊滅した。

## Q - 15: 中性定冠詞 lo の使い方は？

定冠詞には lo という中性形があり、次のように用います。

(1) lo + 形容詞 (句)。抽象名詞や集合名詞を作る。「…なもの」、「…なこと」を意味する。

- Lo ideal es diferente de lo real. // 理想は現実と異なる (諺)。
- Ya hemos dicho todo lo necesario. // もう私達は必要なことをすべて言いました。

(2) lo + 過去分詞。「…したこと」、「…されたこと」を意味する。

- Él tiene la culpa de todo lo ocurrido. // 起こったことはすべて彼のせいです。
- Lo dicho, dicho. // 一度言ったことは取り消せない (諺)。

(3) lo + 所有形容詞。「…のもの」を意味する。

- Lo mío, mío, y lo tuyo, de entrambos. // 私のものは私のもの、君のものは二人のもの (諺)。

(4) lo de... 「…のこと」を意味する。

- Olvidó lo de la reunión. // 彼は会議のことを忘れてしまった。

## Q - 16: 不定冠詞の形は？

男性単数形の un と女性単数形の una があります<sup>13</sup>。

- un hospital 病院、una ciudad 都市。

## Q - 17: 不定冠詞の複数形は？

---

<sup>13</sup> 強勢をつけて発音します。

不定冠詞の形は基本的に単数だけです。複数形のunos, unasは「いくつかの」という意味の不定形容詞であり、不定冠詞の複数形ではありません。たとえば、un libroの複数はlibrosであって、unos librosではありません。よってunos, unasを不定冠詞のつもりで多用してはいけません<sup>14</sup>。

- Madrid posee muchos cafés, bares y buenas discotecas. // マドリードには多くのカフェー、バル、そしてよいディスコがある。

### Q - 18: 「un+女性名詞」は？

強勢のあるa, haではじまる女性単数名詞の前ではunaではなくunが使われることがあります<sup>15</sup>。

- un haya または una haya 1本のぶなの木

冠詞と名詞の間に形容詞がある場合は必ず una となります。

- una hermosa haya 美しいぶなの木

### Q - 19: 不定冠詞の用法は？

基本的に「聞き手に具体的にわかっていない人や事物」を指します。日本語では特に訳さないでよい場合が多いです。

(1) 聞き手が了解していない人や事物を漠然と指す。「ある…、何かの、どこかの…」という意味。

---

<sup>14</sup> ただし複数形（対になるもの）で用いられる名詞には不定冠詞として unos, unas が使われます。

- Ayer compré unos zapatos muy bonitos. // 昨日私はとてもきれいな靴を買いました。
- Carmen es una mujer con unos ojos brujos. // カルメンは魅惑的な目をした女性だ。

<sup>15</sup> 王立アカデミーでは una を勧めています、実際には un のほうが多く使われています。

- Ayer compré un libro muy interesante. // 私は昨日とてもおもしろい本を買いました。

(2) 種類一般を表わす。「どの…も、…ならばどれも、…というものは」という意味。

- Un estudiante de medicina debe saber esto. // 医学の学生ならばこのことを知っていなければならない。

(3) 同一性を表わす。「同じ…」という意味。

- ¡Qué importa bastón, idea o luz! En el fondo todo es un ideal. // 権力も理念も光も問題ではない。根本ではすべては同一の理想なのだ。

(4) 固有名詞の前について「…という人」の意味になる。

- Un señor Fernández desea hablar con usted. // フェルナンデスさんという方があなたとお話ししたいそうです。◇desear 望む、hablar 話す

\* 「…のような人、…のようなもの」という意味。

- En un Madrid, no faltan teatros. // マドリードほどの都市には劇場がないはずはない。◇faltar ない、teatro 劇場

(5) 名詞（句）を強調する。「本当の、まさに…」という意味や「大変な…、ひどい…」という意味。

- ¡El señor López es un profesor! // ロペスさんは本当の教師だ!
- ¡Vaya una canción la de esos señores! // その人たちの歌といたら!

(6) 否定文を強調する。「一つ（一人）の…もない」という意味。

- No dijo una palabra. // 彼はひとことも言わなかった。

(7) 他の品詞を普通名詞に変える。「…というもの」という意味。

- Un cuatro en matemáticas, eso no está bien. // 数学で4をとるのはよくない。

## Q - 20:不定冠詞が特定のものを示すときと不特定のものを示すときは？

不定冠詞には特定のものを指す場合と不特定のものを指す場合があります。

- (a) Llamó a un señor. // 彼はある人呼んだ。
- (b) Pasaremos la tarde en un parque. // どこかの公園で午後を過ごしましょう。

\*上の(a)では話者の意識の中にある特定の人を表しています。一方、(b)では不特定の場所を示します。どちらになるかは話者がどうイメージしているかによるので、文脈や状況によって判断されます。どちらにしても聞き手にとっては知らない人や事物を指します。

## Q - 21:定冠詞と不定冠詞の基本的な違いは？

(1) 定冠詞は聞き手に何を指しているのか了解されているものを差し、不定冠詞は了解されていない概念を示します。

- La tauromaquia es un arte y el arte puede ser incomprendible. // 闘牛は芸術であり、芸術は理解されないことがある<sup>16</sup>。

(2) 定冠詞には「総称」の用法があり、不定冠詞には「種類一般」の用法があります。定冠詞の総称用法ではすべてにあてはまる概念を示します。

- (a) El perro es un animal muy útil. // 犬はとても有用な動物である。
- (b) Los perros son muy fieles al dueño. // 犬は主人にとっても忠実である。

単数(a)は抽象的な類型の総称を示し、犬という類型を指し「犬というもの」の意味になります。複数(b)は包括的な総称を示し、「すべての犬」という意

---

<sup>16</sup> 最初の arte 「芸術」に不定冠詞が用いられているのは、その実体 (arte が何をさすのか) を話者が一人で了解しているためです。一方、2 番目の arte には定冠詞がついているのは、すでに arte の実体 (tauromaquia のこと) が聞き手にも了解されているからです。

味になります。

(2) 不定冠詞の種類一般の用法はそれに属する種類についてひとつひとつにあてはまる概念です。

- Un estudiante de Química debe de saber esta teoría. // 化学専攻の学生ならば誰でもこの学説は知っているはずだ<sup>17</sup>。

## Q - 22:無冠詞は？

定冠詞も不定冠詞もともに名詞の意味(概念)が現実化された実体を示していますが、冠詞のない名詞は概念のままにとどまっています。

- Los habitantes de España hablan español. // スペインの人々はスペイン語を話す<sup>18</sup>。
- Elvira es profesora. // エルビラは教師です。
- Tomamos café en las terrazas. // 私たちはテラスでコーヒーを飲みます<sup>19</sup>。
- Elvira, ¿estás en casa? --Hola, cariño, estoy en el salón. // エルビラ、家にいるの?—あなた、私は居間よ<sup>20</sup>。

---

<sup>17</sup> 種類に属するものを個別に取り出して「化学の学生ならば誰でも」という意味になります。

<sup>18</sup> 動詞+目的語が単一の意味単位を構成するとき、目的語には定冠詞をつけません。

<sup>19</sup> それぞれ、「どのスペイン語、どの女性の教師、どのコーヒー」なのかを示しているわけではありません。このようなときは冠詞をつけません。

<sup>20</sup> この会話の casa が冠詞がないのは、casa が具体化されずに概念のまま「家にいる、在宅している」という意味だからです。一方、el salón は聞き手に了解されている「居間」を指します。「居間」は概念にとどまらず、具体的な居間を指しています。